



日本アカデミック・アドバイジング協会 ニューズレター

No. 7 2024年12月25日発行

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising: 通称 JAAA)

事務局：〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6 京都外国語大学 岸岡研究室

Email: info@academic-advising.jp、URL: https://academic-advising.jp/

<ニューズレター目次>

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1) 2024年度 第4回年次大会実施報告 | 4) 北星学園大学学習サポートセンター紹介 |
| 2) 第3回定期総会議事録 | 5) JAAA役員及び各種委員会・部会メンバー |
| 3) 研修部会の活動と今後の予定 | 6) お知らせ・掲示板 |

<< 日本アカデミック・アドバイジング協会 第4回年次大会実施報告 >>

JAAA第4回年次大会 (2024年度)

大会実行委員長 小林 忠資 (岡山理科大学)

2024年8月31日(土)に開催した「2024年度第4回年次大会」は、日本アカデミック・アドバイジング協会初の対面での開催を企画しましたが、残念ながら最強クラスの台風接近により、直前にオンライン開催に変更することとなりました。実行委員会や役員会では、間際まで対面での開催を模索しましたが参加くださる皆様の安全確保を最優先すべきと判断いたしました。このような中で年次大会開催となりましたが、お陰様で、当日は、会員・非会員合わせて41名の方にご参加いただくことができました。

今年度のテーマは「アカデミック・アドバイジングの組織化—『連携』するアドバイジングを目指して—」です。学生に対して効果的なアドバイジングを提供するためには、アドバイザー一人ひとりのスキルや技能を高めることはもちろん、体制づくりや他部署との連携をとって組織的にアドバイジングを提供することも重要です。そこで、アカデミック・アドバイジングを組織的に行うために求められることを参加者の方々と議論したいと考え、このテーマを設定しました。

シンポジウムでは、「アカデミック・アドバイジングの組織化」と題して村上信明氏(創価大学)、野間川内一樹氏(岡山理科大学)、柿原豪氏(新潟大学)の3名の方に事例を報告いただきました。この事例報告をもとに、アカデミック・アドバイジングを組織的に行うための取り組みや課題を、参加者の方々と議論することができました。

自由研究・実践報告発表では、4名の会員から「教員によるエンゲージメント」「文理融合・分野横断」「初任者」などをキーワードに興味深い実践発表をいただきました。

また、テーマ別ワークショップでは「アンコンシャスバイアスを知る・気づく・対処する」と「アカデミック・アドバイジングの実践と課題を共有しよう!」の2つのワークショップを開催いたしました。どちらのワークショップも、アカデミック・アドバイジング実践について示唆に富む議論が展開されました。

年次大会終了後には恒例の情報交換会を開催し、オンラインではありましたが熱くまた有意義なひと時を共有し、参加者同士の交流をさらに深めることができました。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました!次の年次大会こそは、ぜひ対面で実践と研究についての交流を深められたらと思います。

《参加者アンケートの結果》

大会参加者に対するアンケート結果(N=21)では、参加いただいた皆さま全員から満足(満足76%+やや満足24%)の回答いただきました。

自由記述では、本大会の①「良かったところ」、②「改善した方が良いところ」、③「協会・年次大会に期待すること」についてご意見をいただきました。それぞれの主なご意見は、次ページのとおりです。

①「良かったところ」

- ・ありがとうございました。先進的な発表やシンポジウム、ご講演と多くの学びと実践に関する示唆を沢山いただけたことです。海外の取り組みを具体的に知る機会となったことです。また話し合いの機会が沢山持たれていたことです。
- ・対面実施のところを、全面オンラインに切り替える判断をしていただきありがとうございました。おかげで安心、安全な場所で参加することができました。直前での切り替えは内容の変更も含め手間がかかったことと思います。運営の方々に感謝申し上げます。
- ・司会の皆さんがとても場の雰囲気を潤してくださったので、参加しやすかったです。急遽オンライン開催に変更したにもかかわらず、とても配慮の効いた素晴らしい運営だったと思います。ありがとうございました。
- ・台風被害を避けるためにオンライン開催となったが、運営側に過去のオンライン実施の経験からスムーズに運営され良かった。何しろ参加者の意識が高いことからオンラインでありながら多くの気づきを得ることができた。

②「改善した方が良いところ」

- ・天候の為ですが、対面開催となるとよりよかったですね。
- ・ほとんど休憩がなかったので、お手洗い休暇を入れて頂ければ、良かったです。また午後のワークショップも休憩なしでオンラインですので少し長く感じました。
- ・シンポジウムの登壇者にもう少しバリエーションを持たせたほうが良いのではと思いました。（教員の立場、専門職の立場、アカデミックアドバイジングの位置づけなど）どのように登壇者を選出しているのかも気になりました。
- ・シンポジウムは少し時間が足りなかったかもしれません。

③「協会・年次大会に期待すること」

- ・日本の大学の現状を踏まえつつ、どの大学も進めていけるマニュアルや事例集、スケジュールなどを示していただけたら、ありがたいです。
- ・新しい論文の投稿規定について広く周知されることを希望いたします。
- ・なかなか定義が難しいかと存じますが、アカデミック・アドバイジングの技法について研修等をしていただけると、たいへん参考になるかと思っております（この度のアンコンシャス・バイアスのワークショップは、気づきが多く、たいへん参考になりました）。
- ・本来AAの主体となるべき職員に関する話題が少なかったことが気に掛かる。補助金事業で展開された場合、有期雇用の研究者（本来の研究分野ではなくても）があてがわれ学生指導に関わることは研究人材にとってもったいないのでは？研究に携わる時間が少ない、との苦情がある反面、AAに主体的に関与することは？と思う。職員サイドの人材育成が重要ではないか。

たくさんの、貴重なご意見をありがとうございました。大会運営にご助言・ご協力くださった役員会の皆さま、関係各位の皆さまに改めてお礼申し上げます。今後の大会がより活発で有意義なものになりますよう、大会実行委員会への積極的なご参加をお願いいたします。



<情報交換会のクローゼイングの様子>



本協会では昨年度より大会実行委員を協会内で広く公募し、会員有志にて企画・運営いただいています。大会実行委員に立候補していただいた小林 忠資氏（岡山理科大学）、深谷 麻未氏（名古屋大学）、福 博充氏（創価大学）、松本 清氏（東京科学大学）に心より感謝申し上げます。

日本アカデミック・アドバイジング協会 第3回定期総会 議事録

JAAA事務局

日本アカデミック・アドバイジング協会では、第3回の定期総会を、第4回年次大会時に以下の通り開催しましたのでご報告します。

- (1)開催日時：2024年8月31日（土）13時00分～13時25分
- (2)開催方法：オンライン ZOOM開催
- (3)出席数：33名（理事・監事含む）、（委任状29名）
- (4)議事内容（司会：御厨まり子事務局長、議長：清水栄子会長）

定刻となり、総会において司会を務める事務局長の御厨まり子が総会開会を宣言した。

事務局長は、総会開催に先立ち、6月3日～6月17日の間に行った役員改選の結果及び選出された理事による役員会で決定した次期役員について報告し、会員に承認を得た。これを受け、次期会長に選ばれた清水栄子会員は、次のように挨拶した。本日の午前中の発表を通じて、日本で多様な形でアドバイジングが実践されていることが理解できた。また、本協会においても、会員の経験や視点を共有しながら、活発な議論が行われていると感じている。今後はアドバイジングの質をさらに向上させるために、活動をより活発にし、研究部会の充実を図りたいと考えている。これからも会員の理解と協力をお願いしたい。

続いて、総会の議長について、会則13条第3項の「総会の議長は、会長がこれを務める。」により、以後の議事進行は、清水会長が行った。議長は、提案議案に関する質疑・意見は事務局の説明中にチャットで受理し、説明後に回答する方法で、議案審議のスムーズな進行をお願いした。

i) 総会の定足数について

事務局長より、本総会は、第13条5項により「総会は、個人会員の総数の2分の1以上の出席により成立」と定められており、本日の年次大会出席33名、議長への委任状29名で、会員総数の半数を超え、総会が成立することが報告された。

ii) 第1号議案「2023年度事業報告・収支決算報告」の件

事務局長より、第1号議案「2023年度事業報告・収支決算報告」について説明した後、監事 池田輝政より、8月5日に秦敬治監事が、池田輝政が7月29日に実施した監査の結果、事業、決算が適正であることを確認したとの報告を行った。

本件に関する質疑、意見はなく、議長が2023年度収支決算承認の件について諮ったところ、異論なく承認可決された。

iii) 第2号議案「会則改正について」の件

事務局長より、第2号議案「会則改正について」修正箇所（赤字）の説明があった。今回の主な改正案は、以下のとおり。

- ・（役員）第9条第4項：理事は部会及び委員会の構成員となるため、部会に「等」を追加
- ・（選挙）第11条第1項、（役員選出）第12条第5項：選挙で選出されるのは、事務局長以外の役員としていたが、事務局長と監事を除く役員に変更した。
- ・（年次大会）第18条第3項：年次大会実行委員会の構成員から役員を除外（役員を含む会員の意）
- ・（附則）：今回の規程改正の施行日を2024年8月31日とした。

提案説明後、本件に関する質問はなく承認された（上記以外は、軽微な文言修正のみ）。

iv) 第3号議案「2024年度事業計画・予算案」の件

事務局長より、第3号議案「2024年度事業計画・予算案」について説明があった。説明後、本件に関する質疑、意見はなかった。議長が2024年度事業計画・予算案について諮ったところ、異論なく承認された。

v) その他

議長より、総会で用意した議事について以上の3点であるが、その他会員から総会において審議することがあるか確認したところ、特に申し出はなかった。以上を受け、議長が全ての議事の終了を宣言した。

総会后、馬本理事より、本年度の『研究誌』発行について、年次大会終了後に原稿募集を行う旨説明があり、会員からの応募を呼び掛けた。

□ 研修部会の活動報告と今後の予定（ご案内）

部会長 山崎 めぐみ（創価大学）

研修部会では、本年度のテーマ「アドバイジングと組織化」に基づき、これまでに以下のサロンや研修会を開催しました。

また、年明けにも第3回サロン、対面研修会を開催いたしますので、奮ってご参加ください。

第1回JAAAサロン：「新入生向けのざっくばらんな意見交換」

【オンライン】 開催日時：2024年7月9日(火) 19:30～20:30 オンライン開催

2024年度第4回年次大会のテーマ別ワークショップ

【オンライン】 開催日時：2024年8月31日（土） 参加者数：20名

研修テーマ：「アンコンシャスバイアスを知る・気づく・対処する

～一人ひとりの可能性を広げるために～

講師：鈴木 浩子（アンコンシャスバイアス研究所認定講師／日本薬科大学）

第2回JAAAサロン：「困っていること、悩んでいること、他の参加者の方に聞きたいことなどを
持ち寄り、みんなでアイデアを出し合い、実践のヒントを持ち帰ろう」

【オンライン】 開催日時：2024年10月22日(火) 19:30～20:30

《今後の予定（ご案内）》

■第3回JAAAサロン：「アンコンシャス・バイアスに気づいたことで他部署とうまく協働できた事例の共有」

【オンライン】 開催日時：2025年1月20日（月） 19:00～20:30

【内 容】 夏に開催した年次大会でのワークショップを発展させ、「アカデミック・アドバイジングの組織化とアンコンシャス・バイアス」をテーマに語り合う場にしたいと思えます。特に「アンコンシャス・バイアス」に気づいたことで「他の部署とうまく協働できた！」「新しい気づきがあった！」といった「私の」成功事例を共有する機会にしたいと考えています。

サロンの冒頭では、年次大会で行ったワークショップの概要についても簡単に紹介致しますので、ワークショップや年次大会に参加されていない方、他の参加者の成功事例から学びたい方、また非会員の皆さまの参加も大いに歓迎致します。この機会にアカデミック・アドバイジングとアンコンシャス・バイアスについて、一緒に考えてみませんか？ 皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【参加費】 会員：無料、非会員：1000円

【申込方法】 以下のこくちーずよりお申込みください。

https://www.kokuchpro.com/event/20240120_1/

※申込期限：2025年1月16日（木）

■第2回研修会：「アカデミック・アドバイジングの組織化を考える－『連携』のその先へ－」

【対面開催】 開催日時：2025年2月15日（土） 13時～16時 終了後に情報交換会を開催

場 所：愛媛大学共通講義棟Aアクティブラーニングルーム

【内 容】 本年度最後となる2月研修会では、「アカデミック・アドバイジングの「組織化」を考える（集大成）－『連携』のその先へ－」をテーマとします。各部署がそれぞれの中心目的に向かって特化していくことで広がる部署間の境界を、アカデミック・アドバイジングをとおして考えることを目標に掲げます。アカデミック・アドバイザーはもちろん、様々な部署（アドミッションセンター、学生課、教務課、国際交流、学部教員、学生相談室、保健センター、学習支援、キャリアセンター、IRなど）の方々に広くご参加いただくと嬉しく思います。

【参加費】 会員 2000円、非会員 3000円、懇親会費：5000円

【申込方法】 以下のこくちーずで参加募集中です！

<https://www.kokuchpro.com/event/20250215/>

<< 北星学園大学 学習サポートセンターの活動について (ご紹介) >>

このコーナーでは、アカデミック・アドバイジングに関する会員の活動をご紹介しますが、今回は、会員との交流により学習サポートセンターの活動を活発化されている、北星学園大学の廣川 和貴氏からご寄稿いただきました。皆さまの活動の参考にいただければと思います。

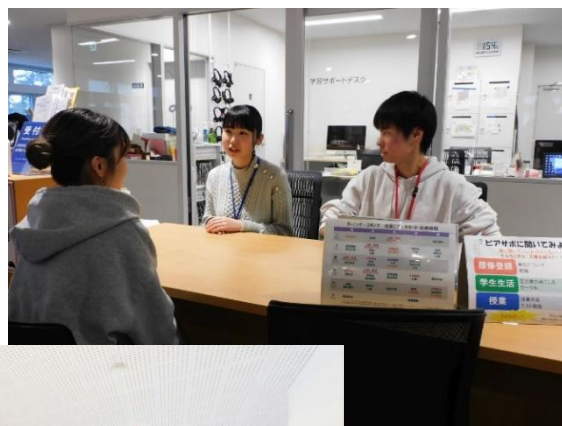
廣川 和貴 (北星学園大学)

北星学園大学 学習サポートセンター (以下、センター) は、学生の学習を総合的に支援するための学習環境の構築と、学習支援の活動を先導的に企画・立案することを目的に2015年度に立ち上がったセンターです。

2025年4月に学習サポートセンターは設置10周年を迎えます。拠点であるラーニング・コモンズは、学生どうしの「出会い」と「創造」の場として、多種多様な学習スタイルに合うようグループワーク、創作活動、プレゼンテーションなどの学習ができるようになっています。また、学習相談、学習セミナー、個別学習支援を展開しており、専属の教職員 (助教・助手) と学生スタッフ (北星ピア・サポーター) が協働して運営しております。学生の悩みや相談内容に応じて、助教・助手に相談し専門的なアドバイスを受けるのか、相談しやすい同じ立場である北星ピア・サポーターに相談するかが選べるのが特徴です。

「北星ピア・サポーター」は、学生どうしの学び合いや学びのサポートを目的に2014年度に発足した大学公認の組織です。この制度はピア・サポーターが自身を含めた本学の学生全体の学びをよりよいものにすることを目的に、学士課程を通じて修得する知識やスキルを、ピア・サポート活動の場において発揮し、将来、社会人として求められる態度の育成を目指しています。所属しているのは、全学部全学科から公募・推薦で選出された約70名の学生で、新入生へのオリエンテーションや履修相談会、ゼミ選びの支援など学生視点で様々なイベントを企画立案し運営しています。

センターとしては、相談に来る学生に対しても、育成する北星ピア・サポーターに対しても、学生自らが何を行動すべきかを理解し、自ら進んで対応できるように支援を行っております。学生自身の力で問題を解く、解決するためのアドバイスを行っており、学生本人に代わって、課題を行う、文書を作成するなど、「答え」を教えることはしないことを心掛けております。今後も学生一人ひとりに寄り添い、学生の将来や目的・目標の達成に向けて、学生個人にあった支援を提供していきます。



<< JAAA役員及び各種委員会・部会メンバー >>

2024年度のJAAA役員及び各部会・各委員会メンバーは、次のとおりです。

よろしくお祈いします。

部会等	氏名(所属大学)
役員 会長 副会長、理事 理事 理事 理事 事務局長 (事務局) (事務局) (監事) (監事)	清水 栄子 (愛媛大学) 山田 剛史 (関西大学) 山崎 めぐみ (創価大学) 馬本 勉 (県立広島大学) 私市 佐代美 (武庫川女子大学) 御厨 まり子 (明星大学) 岸岡 洋介 (京都外国語大学) 岸岡 奈津子 (立命館大学) 池田 輝政 (U&Cストラテジー) 秦 敬治 (岡山理科大学)
研修部会	◎山崎 めぐみ (創価大学) 岡田 強志 (東京通信大学) ※ 杉田 郁代 (高知大学) ※ 福 博充 (創価大学) ※ 川村 和弘 (北九州市立大学) ※ 鈴木 浩子 (日本薬科大学) ※ 御厨 まり子 (明星大学)
研究部会	◎山田 剛史 (関西大学) 木原 宏子 (関西大学) ※ 宝来 華代子 (崇城大学) ※ 嶋田 みのり (東北学院大学) ※
広報部会	◎私市 佐代美 (武庫川女子大学) 田中 美也子 (大阪経済大学) ※ 芳中 宗一郎 (大阪産業大学) ※ 松田 優一 (関西大学) ※
年次大会実行委員会	◎小林 忠資 (岡山理科大学) ※ 深谷 麻未 (名古屋大学) ※ 松本 清 (東京科学大学) ※ 福 博充 (創価大学) ※
編集委員会	◎馬本 勉 (県立広島大学) 嶋田 みのり (東北学院大学) ※ 宝来 華代子 (崇城大学) ※ 竹山 優子 (筑紫女学園大学) ※ 私市 佐代美 (武庫川女子大学)

◎：実行委員長、部会長 ※非役員



<< お知らせ >>

編集委員長 馬本 勉 (県立広島大学)

協会誌『アカデミック・アドバイジング研究』第3号発刊予定

『アカデミック・アドバイジング研究』第3号(Journal of Academic Advising in Japan, No. 3)は、2025年3月末にWeb上での発行を予定しています。

JAAA会員への先行発行としており、次号のニュースレター及びJAAAサイトでお知らせします。第3号の投稿者ならびに編集協力者の皆さまに、お礼を申し上げます。

❖ 協会誌投稿スケジュールについて

- ・協会誌『アカデミック・アドバイジング研究』への投稿案内は、例年8月末の年次大会直後に行います。
- ・9月末日までに投稿申込を、11月15日までに投稿原稿を、それぞれ提出いただきます。
- ・その後の査読結果により協会誌への掲載可否を決定し、掲載可能な原稿について3月末に発行します。

<< 掲示板 >>

1) 会費納入のお願い

2024年度の会費(3,000円)が未納となっている方は、必ず1月末日までにお支払いください。お振込みの際には、お名前の前に会員番号を記載してください(ご不明な場合は、結構です)。

- =====
- ゆうちょ銀行【記号】11390【番号】16649071
 - 他の金融機関からの振込みをされる場合
株式会社ゆうちょ銀行【店名】一三八(読み イチサンハチ)
【金融機関コード】9900、【店番】138
【預金種目】普通預金、【口座番号】1664907

○こくちーずからのお振込は下記URLよりお願いします。(右QR)

<https://kokc.jp/e/015d606ee1f412557ecd317e2a5372ea/>



2) 所属先・住所等の変更連絡のお願い

お届けの所属先や住所などに変更がある場合は、JAAA事務局までお知らせください。

3) また退会を希望される場合は、学会HP「協会について」の「個人会員 退会届」をダウンロードいただき、退会理由を明記の上、JAAA事務局までメールでご提出をお願いいたします。

<編集後記> 本年度のJAAA第4会年次大会開催に当たり、広報部会では、年次大会要旨集とJAAAサイトへの1年間の企業広告募集を試みました。その結果、3社にご協力いただくことができました。来年の8月末まで、JAAAサイトのトップページにバナー広告を掲載していますので、どうぞご利用ください。また、ニュースレターでは、会員の皆さまのアカデミック・アドバイジングに関する活動をご紹介します。ご寄稿をお待ちしています。今年もあと残り少なくなりました。皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。(編集担当:S.K)

日本アカデミック・アドバイジング協会

(Japan Association for Academic Advising : 通称 JAAA)

事務局 : 〒615-8558 京都府京都市右京区西院笠目町6

京都外国語大学 岸岡研究室

Email : info@academic-advising.jp、URL : https://academic-advising.jp/

